

決算特別委員会記録（第3号）

平成30年9月19日 水曜日 午前10時00分開議

小 関 秀 一 委員長 金子 豊 美 副委員長

出席委員（14名）

1番 宇津木 正 紀 委員	2番 浅野 敏 明 委員
3番 金子 豊 美 委員	4番 内谷 邦 彦 委員
5番 平 進 介 委員	6番 鈴木 富美子 委員
7番 渡部 秀 樹 委員	8番 今泉 春江 委員
9番 梅津 善 之 委員	10番 赤間 泰 広 委員
11番 小関 秀 一 委員	12番 五十嵐 智 洋 委員
13番 蒲生 光 男 委員	14番 安部 隆 委員

欠席委員（0名）

説明のため出席した者

内谷 重 治 市長	遠藤 健 司 副市長
泡渊 栄 人 地方創生戦略監併教育戦略監	齋藤 環 樹 総務参事
佐野 安 広 厚生参事	伊藤 亮 一 会計管理者兼税務課長兼会計課長
竹田 利 弘 地方創生参事兼総合政策課長	小関 浩 幸 総務課長
鈴木 嗣 郎 財政課長	渡部 和 裕 公共施設整備課長
新野 弘 明 地域づくり推進課長	金子 剛 市民課長
手塚 慶 一 健康課長	高橋 正 典 福祉あんしん課長
梅津 義 徳 子育て推進課長	堀越 俊 一郎 代表監査委員
平田 裕 教育長	谷澤 秀 一 産業参事
青木 邦 博 建設参事兼公共事業推進調整参事	桐生 芳 弘 農林課長併農業委員会事務局長
赤間 茂 樹 商工観光課長	横山 照 康 産業活力推進課長
多田 茂 之 建設課長	蒲生 浩 美 上下水道課長
川村 直 人 教育参事	近藤 智 規 教育総務課長兼学校給食共同調理場長
竹田 洋 学校教育課長	佐々木 勝 彦 文化生涯学習課長
沼澤 孝 典 生涯スポーツ課長	鈴木 良 弘 選挙管理委員会事務局長併監査委員事務局長
五十嵐 和 彦 消防主幹	

事務局職員出席者

松 木 満	議会事務局長	山 口 和 則	補 佐
若 月 由 紀	補佐（議事調査担当）	安 達 洋 司	技 士 長

本日の会議に付した事件

- 認 第 1 号 平成29年度長井市歳入歳出決算認定について
- 認 第 2 号 平成29年度長井市水道事業会計決算認定について
- 議案第65号 平成29年度長井市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

開 議

○小関秀一委員長 これから、昨日に引き続き、決算特別委員会を始めます。

本日の会議に欠席の通告委員はございません。よって、ただいまの出席委員は定足数に達しております。

平成29年度長井市各会計決算に関する総括質疑

○小関秀一委員長 それでは、昨日に引き続き、決算の総括質疑を続行いたします。

宇津木正紀委員の総括質疑

○小関秀一委員長 順位4番、議席番号1番、宇津木正紀委員。

○1番 宇津木正紀委員 おはようございます。

私は、生きがいと活力のある長井市になることを願い、予算総括質疑をいたします。よろしくお願ひします。

最初に、1番目の道の駅の運営についてお伺ひします。

歳出7款1項2目商工振興費024観光交流センター事業3,477万2,066円について伺ひます。

観光交流センター、道の駅川のみなと長井、以後略して道の駅といたします。道の駅は昨年4月オープンし、1年間で来客数50万9,137人、売上高約2億4,850万円と、1年目は好調な滑り出しとなりました。1年目の幸運に甘んじな

いで、道の駅運営の課題を問い、さらに磨き上げる、いわゆるブラッシュアップしていく方策を考えたいと思います。

(1)であります。運営の課題はないのか。直売所・菜なポート、物産コーナー、飲食・フードコートの課題はないのかについて伺ひます。

売上高の部門別では、直売所・菜なポート部門が約1億3,168万円、物産部門約8,389万円、飲食・フードコート部門約3,038万円、その他、市内和菓子が約255万円でありました。直売所・菜なポートは、南店の運営が継続されることにより、当初計画よりも売上高が低くなったのはいたし方ないと思います。もっと売上げが減るのかとも心配しましたが、駅長や職員の努力で約1億3,168万円の売上げを達成できたと思います。

しかし、直売所・菜なポートは出品者、出品数が少ないため、市場から買っているため価格が高目になっているのではないのでしょうか。また、お客さんがふえないことにつながってはいないのでしょうか。出品者、出品数をふやす方策を検討すべきだと思います。

菜なポートのラベル発券機について、私の感じる課題は2点あります。設置場所が道の駅事務室の片隅にあること、菜なポートのラベル発券機とは違うため、高齢者の出品者はなれにくいことでもあります。

日本農業新聞に、直売所に関する興味深い記事が出ておりました。抜粋して紹介したいと思います。直売所は、鮮度、値ごろ感、それに地場産の安心感で着実に拡大してきたが、今、第4のキーワードとして珍しさが浮上している。買い物客は、日常野菜を買った後で、何か変わった野菜や果物がないかと店内をめぐる。このわくわく感が大変重要となる。中略します。売れ筋でないと商品が売り場から消えるスーパーと違って、珍しい野菜があつて楽しいと来店者を引きつける直売所をもっと広めたいという記